

第 129 回 薬学教育協議会 病院・薬局実務実習近畿地区調整機構委員会 議事録

日時：2026 年 1 月 30 日（金）18:00～

場所：WEB 会議（Zoom）

出席者：

大阪府病院薬剤師会	竹上 学、土井克彦	京都府病院薬剤師会	小阪直史
兵庫県病院薬剤師会	矢野育子	滋賀県病院薬剤師会	森田真也、早川太朗
奈良県病院薬剤師会	金松 誠、青井博志	和歌山県病院薬剤師会	田辺和史、野際俊希
大阪府薬剤師会	乾 英夫、伊藤憲一郎、松浦正佳	京都府薬剤師会	守本真人
兵庫県薬剤師会	住谷庸子	滋賀県薬剤師会	木村昌義、隠岐英之、渡邊真樹
奈良県薬剤師会	堀本佳世子、木田大樹	和歌山県薬剤師会	児嶋慶和、竹谷美賀子
京都薬科大学	北田徳昭、津島美幸、橋詰 勉	京都大学薬学部	山下富義、宗 可奈子
同志社女子大学薬学部	関本裕美、岸本 歩、芝田信人	大阪大学薬学部	池田賢二、村岡未彩
大阪医科薬科大学	角山香織、古川哲也	近畿大学薬学部	細見光一、小竹 武
摂南大学薬学部	辻 敏和、田中雅幸	大阪大谷大学薬学部	名徳倫明、小畑友紀雄
武庫川女子大学薬学部	田内義彦、吉田 都(代理)	神戸薬科大学	白木 孝、猪野 彩
神戸学院大学薬学部	橋本保彦	兵庫医科大学薬学部	桂木聡子、村上雅裕
姫路獨協大学薬学部	柳澤吉則、神林祐子	立命館大学薬学部	角本幹夫、上島 智
和歌山県立医科大学	須野 学、江頭伸昭		
徳島文理大学薬学部	四宮一昭	就実大学薬学部	島田憲一
福山大学薬学部	木平孝高(代理)		

監事 平田收正(和歌山県立医科大学)

実務実習指導者養成小委員会 木下 淳(兵庫医科大学)

(順不同、敬称略)

議事に先立ち、本委員会に初出席の大阪大学薬学部・村岡未彩先生、福山大学薬学部・木平孝高先生からご挨拶があった。

名徳委員長から、次回（第 130 回）委員会を、2026 年 4 月 18 日（土）17 時 30 分より、大阪梅田ツインタワーズ 26 階会議室にて対面開催する旨が告げられた。

協議事項

1. 2025 年度実務実習について

委員からの発言はなかった。

2. 2026 年度実務実習施設調整の進捗状況について（協 1）

名徳委員長から、2026 年度実務実習施設調整がほぼ完了したことが報告され、大学関係者、薬剤師会、病院薬剤師会にお礼が述べられた。ただし、薬学共用試験の結果により再調整が必要になる場合があり、資料（協1、p4）記載の「学生 - 施設のマッチング再調整」に従って行うことが説明された。なお、留年の場合は辞退となる。

3. 2026 年度地区連絡会の日程（協 2）

2026 年度の地区連絡会の開催予定について、名徳委員長から資料（協2）に基づき説明があり、開催に向けて協力要請があった。なお、3 回（1/11 和歌山県、1/25 大阪府（薬剤師会）、1/25 兵庫県（姫路獨協）はすでに終了しており、問題なく開催されたことが確認された。

4. 2026 年度地区連絡会の配布資料について

地区連絡会での配布資料4件について、名徳委員長から以下の説明があった。委員からの修正意見はなく、これを承認した。

1) 2026 年度実務実習実施にあたってのお願い（協 3-1）

- ・年号・日付の修正等のみで昨年度から大きな変更はない。
- ・「実務実習指導・管理システム（WEB システム）利用指針」は、従来別冊子としていたが、本お願いの文書に纏めた。

2) 認定実務実習指導薬剤師認定制度実施要領・説明会資料（薬学教育協議会）（協 3-2）

- ・薬学教育協議会作成の説明資料で、新規の規定が含まれている。また、パワーポイント（PDF）の説明資料がある。

3) 2026 年度近畿地区府県薬剤師会・病院薬剤師会連絡会資料（協 3-3）

- ・資料 1：実務実習におけるハラスメントへの対応（令和 6 年度改訂版）、資料 2：実務実習トラブル対策レポートシステム、資料 3：臨床における実務実習に関するガイドライン、について、昨年度までは紙媒体の資料としていたが、URL および QR コードのみを記載し、ダウンロード可能な資料とした。
- ・京都大学・山下委員から、実務実習トラブル対策レポートシステムのセキュリティに関する確認があった。名徳委員長から、本システムのサイトはトラブルの報告（登録）のみであり、内容の閲覧はできないと説明された。

4) ガイドライン・実践実習配布資料（協 3-4）

- ・2027 年度の大学での事前実習および 2028 年度の実務実習から適応となる「臨床における実務実習臨床における実務実習に関するガイドライン」、およびガイドラインに記述された追加の実習「薬学実践実習」に関する説明資料（パワーポイント：PDF）である。

5. 2025 年度の収支中間報告について（協 4）

角山副委員長から、2025 年度補正予算案について、資料（協 4-1）に基づき次の説明があった。① 会費収入は、定員減となる大学を見込んでいたがその対応が先になるとのことで収入増となること、② 支出について、事務局は従来の 2 名から、正規職員および派遣職員の採用に伴い給与等の支出予算を増額することから、補正予算を組む必要がある。委員からの反対意見は無く、これを承認した。

角山副委員長から、資料（協 4-2）に基づき 2025 年度収支の中間報告があった。収入について、ワークショップ収入は現時点のものであり、あと 2 回の開催を予定している。印税収入が減少しており、実務実習テキストの印税は調整機構にとって大切な収入源であることから、各大学に対してテキスト採用の要請があった。支出については、事務局消耗品として机等を購入したこと、事務局職員の給与が増えていることの説明があった。2025 年度収支の見込みとして、ある程度は繰越が可能であると述べられた。

なお、資料（協 4-1、協 4-2）に誤りがあり、後日、修正箇所を赤字とした上で送信される。

6. 2026 年度の事業計画（近畿地区）および予算案について（協 5-1、協 5-2）

名徳委員長から、資料（協 5-1）に基づき 2026 年度の事業計画案について説明された。総会は年 4 回の開催とすること、実務実習施設の割り振り作業は 2025 年度と同様のスケジュールで行うことが示された。また、実務実習の円滑な実施に向けた事業として、実務実習トラブル対策レポートシステムの運用と解析を継続し、WEB システムについては新しいシステムを検討中であると述べられた。次に、現行実務実習の充実化とともに、改訂コアカリおよび新しいガイドラインへの対応についても引き続き計画されている。名徳委員長の説明の後、本事業計画を承認した。

角山副委員長から、資料（協 5-2）に基づき 2026 年度予算が提案された。会費収入については、学生定員減等の影響から会費収入が減額となる。また、ワークショップは、年 5 回から年 4 回の開催と

なり減額となる。印税収入は 2025 年度を勘案して減額とした。支出について、会議費は委員会等の対面開催が減っていること、ワークショップの開催回数が減っていること、事務局消耗品は事務局机・パソコンの入替が完了したことから、それぞれ減額となる。一方、事務局増員（2.5 人体制）による給与、雑給、福利厚生関係の支出が増額となり、維持管理費は物価高を反映して増額して計上している。最後に、年々繰越金が減少しており厳しい状況であることから、節約しながら運営を行いたい旨が述べられた。以上の説明・提案の後、本予算案を承認した。

なお、資料（協 5-2）の 2025 年度予算額に誤りがあり、後日、修正箇所を赤字とした上で送信される。

7. 指導者養成小委員会報告（協 6）

実務実習指導者養成小委員会・木下小委員長から、2025 年度第 2 回指導者養成小委員会（2025 年 11 月 25 日から 12 月 2 日の持ち回り審議）の報告があり（協 6）、2026 年度指導者養成ワークショップの開催形式、回数などについて説明があった。開催形式は 2025 年度を同様であること、開催回数は受講予定者調査の結果に基づき年 4 回とすること、座学講習会とワークショップの調整は現在審議中であると説明された。

次に、2026 年度ワークショップの具体的な開催予定が示され、これを承認した。なお、第 137 回（2027 年 2 月 13・14 日）について、大阪大谷大学・小畑委員から学内行事のため 1 週間早めたいとの発言があり、開催日については、名徳委員長および木下小委員長の判断で決定することを合わせて承認した。

8. 実務実習トラブル対策レポート報告（協 7）

名徳委員長から、実務実習トラブル対策レポートについて 2025 年 10 月 7 日から 2026 年 1 月 16 日までの報告内容について、資料（協 7）に基づき説明があった。

また、これまで 3 年間の集計結果を連絡会の説明資料に加えていると述べられた。

9. テキスト小委員会からの報告

田内副委員長から、病院・薬局実務実習テキスト 2026 年度版発刊に至ったことが報告され、執筆者はじめ関係者にお礼が述べられた。また、症例を変更しており、是非ご活用いただきたい旨が述べられた。

10. その他

臨床における実務実習に関するガイドラインおよび薬学実践実習について、平田監事、橋詰委員から情報提供があり、意見交換を行った。なお、薬学実践実習に関する医療提供施設へのアンケート調査の時期は協議して決められる。

報告事項

1. 第55 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会（報1）

名徳委員長から、標記委員会（2026 年 1 月 28 日）について資料（報 1）に基づき報告があった。

以上

記録担当：橋詰 勉

資料

- 協 1 2026 年度実務実習施設調整等について
- 協 2 2026 年度連絡会日程予定
- 協 3-1 2026 年度 実務実習実施にあたってのお願い（近畿地区）
- 協 3-2 認定実務実習指導薬剤師認定制度実施要領・説明会資料（薬学教育協議会）
- 協 3-3 2026 年度近畿地区府県薬剤師会・病院薬剤師会連絡会資料
- 協 3-4 ガイドライン・実践実習配布資料
- 協 4-1 2025（令和 7）年度補正予算案（近畿地区）
- 協 4-2 2025 年度収支中間報告書（近畿地区）
- 協 5-1 2026 年度近畿地区調整機構（近畿支部）事業計画案
- 協 5-2 2026 年（令和 8）度予算案（近畿地区）
- 協 6 指導者養成小委員会報告
- 協 7 実務実習トラブル対策レポート（2025. 10. 7-2026. 1. 16）
- 報 1 第 55 回病院・薬局実務実習中央調整機構委員会資料

[会議後追記] 協 4-1 2025（令和 7）年度補正予算案（近畿地区）、協 4-2 2025 年度収支中間報告書（近畿地区）、および、協 5-2 2026 年（令和 8）度予算案（近畿地区）の資料について、2/10 付、事務局から差替の連絡があった。